

対象年度	令和 2年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	広聴活動事業						予算事業名	広聴活動経費						
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
			02	01	03	1101	経常経費							
総合計画体系	5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)						事業の区分	主要事業						
	5-1市民・企業・行政がともに支えあう体制づくり (市民参加・広聴)							重点事業						
	②広聴広報の推進						担当課係等	秘書課						
	2広聴活動の推進							広聴広報係						
事業期間	継続 (年度～令和 3年度)													
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】	市民ニーズの把握や市民の行政参加機会の拡充を図り、市政に反映させて、住みよい街をめざす。						【事業開始のきっかけや他市の状況など】	市民の意見、提言等を市政に反映させるために、各種方法により実施している。						
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】	<ul style="list-style-type: none"> ・「要望書」「市長へのご意見箱」の受理及び担当部署との連絡調整 ・「市長と語る対話集会」「市政懇談会」の開催及び担当部署との連絡調整 ・自治協力員に関する事務 						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】	<ul style="list-style-type: none"> ・市民 						
							【事業をとりまく環境の変化】	市民から行政への要望は年々増加する傾向にあり、その内容も多岐にわたっている。						
【令和 2年度 事業内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・「要望書」「市長へのご意見箱」の受理 ・「市長と語る対話集会」「市政懇談会」の開催 ・自治協力員に関する事務 						【令和 3年度 事業内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・「要望書」「市長へのご意見箱」の受理 ・「市長と語る対話集会」「市政懇談会」の開催 ・自治協力員に関する事務 						
【令和 4年度 事業内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・「要望書」「市長へのご意見箱」の受理 ・「市長と語る対話集会」「市政懇談会」の開催 ・自治協力員に関する事務 													

■事業費

		H30年度	R01年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	456	516			
歳入計 (千円)		456	516			
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	08 報償費	101	105			
	09 旅費	3	0			
	11 需用費	2	7			
	12 役員費	20	59			
	19 負担金補助及び交付金	330	345			
歳出計 (千円) (A)		456	516			
伸び率 (%)			13.15			
備考	総合計画134ページ 予算書35ページ					

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	市長と語る対話集会の開催	回	目標	3.00	3.00	3.00
	自治組織や各種任意団体を対象に、7月・11月・2月の年3回行う。		実績	1.00	0.00	0.00
	市政懇談会の開催	回	目標	5.00	5.00	5.00
	地区毎（結城・絹川・上山川・山川・江川）に開催し、要望・意見を聴取する。		実績	5.00	0.00	0.00
成果 指標	市長と語る対話集会申込み団体数	回	目標	5.00	5.00	5.00
			実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	多様化、複雑化する市民からの要望・意見を聴取し、政策に反映するため必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政にしか実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	文書・メール・投書など、時代や個人にあった様々な手法・手段で広聴活動が実施できている。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	要望書やご意見箱への意見などへの対応に伴うものであり、削減の余地はない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	子どもから高齢者まで全世代をカバーしているため偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	その時々課題や問題への意見を聴くことが出来き、事業の成果はある。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	市民の声を積み上げて、継続的に市政に生かしている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
各所管課において迅速な対応が必要なものについては、当課への処理報告を速やかに行い対応が来ている。事業全般を通じて、特に青年・壮年層の提案・意見が少ない状況である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
団体・個人からの要望・意見を幅広く聴けるよう、「市長と語る対話集会」に参加しやすい開催日時の調整や、「市長へのご意見箱」をSNSなどで周知の強化を図る。 寄せられた意見・要望などをHPなどに掲載し、庁内だけでなく市民とも情報共有していく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 本事業は、市民からの意見・要望を聴く重要な事業であるが、年3回開催の「市長と語る対話集会」については、申し込みが少ない状況であることから、事業の周知、実施方法等の改善を図り、継続実施すべきである。 なお、その他の広聴事業についても、継続実施すべきである。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。